

第7回西東京市立学校
統合協議会 資料2
平成26年12月9日
教育企画課企画調整係

西東京市立学校統合協議会提言書（最終案）

平成26年 月

西東京市立学校統合協議会

目次

はじめに	2
西東京市立学校統合協議会提言書	3
1 統合校の将来像について	4
2 統合後の学校の名称、校歌、校章等の方向性について	7
3 歴史の保存について	9
むすびに	10
資料	11
・西東京市立学校統合協議会第2回会議ワークシート集計結果	13
・西東京市立学校統合協議会第3回会議ワークショップ	19
・西東京市立学校統合協議会第4回会議ワークシート集計結果	22
・西東京市立学校統合協議会第5回会議ワークシート集計結果	26
・西東京市立学校統合協議会設置要綱	30
・西東京市立学校統合協議会委員名簿	32
・検討経過	33

はじめに

現在、西東京市は、小学校 19 校と中学校 9 校、計 28 校の市立小・中学校を設置している。このうち、住吉小学校・泉小学校・保谷小学校・本町小学校は、南北にほぼ 400 ㊦の間隔で近接して位置しており、そのいずれの学校も小規模化の傾向が続いている。

市では、児童の教育環境の向上を図るため、統廃合を視野に入れた検討を重ね、市民説明会や該当 4 校の保護者を含む市民 3,000 人を対象とした意識調査等による意見聴取等を経て、泉小学校と住吉小学校を統合し、泉小学校を閉校とすることが、平成 25 年 11 月教育委員会定例会において決定された。そして、平成 26 年第 1 回西東京市議会定例会においては、その内容を反映する西東京市立学校設置条例が可決された。

本協議会は、泉小学校と住吉小学校の保護者、地域関係者、学識経験者及び学校関係者から成り、統合後の学校の名称等や泉小学校の歴史の保存などについて検討し、その検討結果について、教育長に、本書をもって提言するものである。

(抄)

西東京市立学校統合協議会提言書

1 統合校の将来像について

統合校の将来像としては、「子どもが主人公」を目指して、一人ひとりを大切にする学校であるとともに、学校と保護者・地域とが一体となって子どもたちを育てていく、地域に開かれた特色のある学校であるよう提言する。

2 統合後の学校の名称、校歌、校章等の方向性について

統合後の学校の名称は、西東京市立住吉小学校とする。校歌、校章等については、住吉小学校のものとするとともに、泉小学校の児童が現に使用している校帽など、泉小学校のよき伝統が、住吉小学校において継承されていくよう提言する。

3 歴史の保存について

泉小学校の歴史の保存については、メモリアルルームもしくはオープンスペースなど、誰もが見ることのできる場所を住吉小学校に設置し、泉小学校として残したいものを保存していくよう提言する。

1 統合校の将来像について

本協議会では、委員全員が自由に意見を述べ、意識を共有することを目的に、ワークシートを用いて、意見を聴取した。また、委員を二つのグループに分けるなど、討議形式を工夫したワークショップも実施し、その結果を踏まえて協議・検討を進めた。

統合校の将来像については、様々な意見や提案があり、そのどれもが子どもの立場にたち、子どもの未来を考えたものであった。統合校である住吉小学校では、委員の意見や提案の趣旨を尊重し、今後の学校づくりを推進していくことを望むものである。

【提言】

統合校の将来像としては、「子どもが主人公」を目指して、一人ひとりを大切にする学校であるとともに、学校と保護者・地域とが一体となって子どもたちを育てていく、地域に開かれた特色のある学校であるよう提言する。

【意見】

(学校全体)

- 学校施設、地域の人材を活用した動きのある学校にして欲しい。
- 他校で実施しているライフスキル¹教育などの成果を取り入れ、目標の達成感が得られる学校にしていくことは必要だと思う。
- いじめなどを自ら解決できる学校になると良い。
- 豊かな心の面からみても、新しい学校では別の学校、別の環境で育った人と一緒になるので、相手の気持ちを思いやることを育むチャンスであると思う。
- 小学校時代が人格形成に与える影響は大きい。かけがえのない時期であることを心に刻んでもらいたい。
- 小学校はいつまでも和める場所であってほしい。
- 面と向かって人と人との対話ができるような子どもになってほしい。
- 自分が周りに大事にされる、これ以上の幸せはない。自分をきちんと表現できる環境づくりは

¹ ライフスキル：「日常生活で生じる様々な問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な心理社会的能力」を指し、日本語では、「よりよく生きるために必要な技術的能力」と訳されている。ライフスキルを獲得するためには、以下の5つのスキルが大きく関係している。

- ① セルフエスティーム（健全な自尊心）：自分らしく、より良く生きていくための基盤といえる。問題にぶつかった時に、周囲に影響されることなく、現実的に自分自身を見つめ、自分で判断し行動できる基盤となる「力」
 - ② 目標設定スキル：問題にぶつかったときに、客観的に現実を認識し、その中で自分が何ができるかを考え、現実的な目標を設定できる「力」
 - ③ 意思決定スキル：目標を解決するための選択肢をあげ、それぞれの選択肢がもたらす結果を予測し、最善と思われる方法を決定する「力」
 - ④ （自己主張的）コミュニケーションスキル：人間関係を損なうことなく上手に自己主張できる「力」
 - ⑤ ストレスマネジメントスキル：有害なストレスを引き起こさないよう、上手に対処できる「力」
- （出典：東京都福祉保健局ホームページ）

重要である。

- 核があり、バランスが保たれた新しい学校づくりができるとうい。
- いろいろなことが考えられると思うが、最終的に子どもたちがニコニコ通える学校がよいと思う。今の住吉小学校の子どもは言葉遣いがきちんしており、とてもよい。適切な言葉、礼儀、相手を思いやる気持ちなど育てていきたい。
- いろいろなことはあろうが、全体的にきちんとした子どもに育ててほしい。
- 和の精神を大事にし、思考力・判断力・表現力のある児童を育てる、地域の核となる学校を作っていくたい。
- 泉小学校の伝統や素晴らしさを伝えていくのは統合校である。
- 両校長は両校の児童をそれぞれ自校の児童と考えて関わっている。両校の保護者交流会があり、泉小学校の子どもたちを待っていることが伝わってきたという報告もある。一つ一つの不安が安心に変わっている。

(先進的な取組)

- 社会変化の影響を受けた結果による統合である。思い切ってこれまでの西東京市の学校のイメージ等にとらわれずに先進的な取組をすればよい。
- 公立学校としての先進性を検討されたい。

(ICTの活用)

- ICTや反転授業²の先進的な部分を上手く位置付けていけばよい。グローバル化を視野に入れ、進んで取り組む必要があると考える。

(グローバル化への対応)

- 英語教育は、先生との顔を見た会話が重要だと思う。
- 2020年のオリンピックは、世界の出来事を身近に感じられるチャンスなので、生かしてほしい。
- 英語学習については、泉小学校と住吉小学校とで連携を図ることができると思う。
- 自分の言いたいことを言えるというのが大事である。
- 英語教育は大切だと思う。学校で学ぶ英語が、受験対策の英語なのか、話す英語なのか、方向性について考える必要がある。
- 英語は、今は外国語活動としてコミュニケーション力を高める授業だが、これからは教科化してくると思う。
- 今の英語の授業は遊び的な導入部分と感じており、グローバル化につながるのかと思う。
- 実生活でも使える英語を学ぶ方向性を大切にすることがある。

² 反転授業：授業と宿題の役割を「反転」させる授業形態のことを指す。通常は授業中に生徒へ講義を行い知識を伝達し、授業外で既習内容の復習を行い、学んだ知識の定着を促す。これに対し、反転授業では自宅で講義ビデオなどのデジタル教材を使って学び、授業に先立って知識の習得を済ませる。そして教室では講義の代わりに、学んだ知識の確認やディスカッション、問題解決学習などの協同学習により、学んだ知識を「使うことで学ぶ」活動を行う。このような授業形態を導入することで、生徒の学習意欲を向上させて知識の定着を促し、落ちこぼれを防ぐなどの効果が期待されている。

(出典：独立行政法人科学技術振興機構ホームページ)

- 目標を持ち、体系的に学ぶことで、コミュニケーション能力も育つと思う。
- 今の中学校の英語の授業は、細かい指示も英語で行っている。かつてはそのようなことができなかった。小学校の英語の授業の成果と考えられる。
- 英語活動は、興味を持つことが大事。まずは、英語の先生とコミュニケーションをとり、耳に入れていく必要がある。

(和の教育)

- 和を大切にしたい。
- 正しい日本語を学ぶことも大切である。きちんとした日本語が定着することにも留意されたい。
- 読書量を増やすとともに、日本の伝統文化を重んじるようにしてもらいたい。日本の教育は世界各国で見直されている。もっと誇りや勇気を持てるような環境づくりをしてもらいたい。

(体幹を鍛える)

- 体幹を鍛える、姿勢学習の取組は重要と考える。

(地域との関わり)

- 学校と家庭、さらに地域を巻き込んだ学校づくりが大切だと思う。
- 学校は積極的に地域の力を活用して欲しい。学校が地域に直接アプローチし、地域の人が入りやすいようにしてもらいたい。
- 私見であるが、両校ともPTAがないが、PTAのある学校は活気があるように思い、統合校でのPTAの設立に関心がある。地域を取り込む面において、重要だと思う。

写真 ワークショップ実施状況



2 統合後の学校の名称、校歌、校章等の方向性について

本テーマについても、ワークシートを用いて意見を聴取し、会議の場において協議・検討を行った。統廃合をすることの目的は、児童の教育環境の向上であり、校名変更に伴い発生することが想定される費用については、児童の教育環境の整備に充ててもらいたいという意見や良き伝統を継承してもらいたいという意見が多かった。

【提言】

統合後の学校の名称は、西東京市立住吉小学校とする。校歌、校章等については、住吉小学校のものとするとともに、泉小学校の児童が現に使用している校帽など、泉小学校のよき伝統が、住吉小学校において継承されていくよう提言する。

【意見】

（子どもの意識）

- 子どもたちレベルで本当に校名変更を望んでいるのかとも思う。「住吉小学校」に行くという意識が芽生えていると感じる。校名はそのままでよいと思う。地域としてもそのままだが自然で、収まりがよいと考える。
- 子どもたちの中に学校名が変わって違う学校に行くというイメージはないと感じた。

（費用・負担）

- 単学級化と財源が統廃合の契機ならば、費用負担の発生はそれと逆行するものであり、必要性を検討することが重要である。
- 校名を変更することは、統合を進めることの作業負担、閉校を進めることの作業負担の上に、更に作業負担を増やすものではないか。校名は住吉小学校のままでよいと考える。
- 校名変更に伴って発生する費用・時間が厳しいと感じた。費用・時間は、統合後の子どもたちに使って欲しい。
- 費用は、未来ある子どもたちに投資していくべきであると思う。校名変更には費用・労力が想定される。
- 校名変更に費用がかかるのであれば、指定校以外に行く児童にも、対応してもらいたいと思う。

（伝統の継承）

- 泉小学校の伝統を残して、例えば住吉小学校に泉小学校を記念するものを残すなどして対応していけたらよいと思う。
- 泉小学校のよいところをどんどん取り入れることとし、校名は変更しなくてもよいのではないかと考える。

- 形としてはっきりものが残ることも重要である。泉小学校の児童が使用している校帽が残るとよい。校帽があると、遠足等で外出した際に、自校の児童であることが見分けやすい。また、熱中症等の対策や所属意識を高めるのによいと思う。
- 校名というよりも良き伝統・校風等を住吉小学校に引き継ぐことに力を注いでいきたい。その方が子どもたちも泉小学校に通っていて良かったなどと思えるのではないか。

(その他)

- 「全く新しい校名を検討する」と考えていたが、資料により他の委員の回答を知り、指定校である「住吉小学校」を校名とするに考えを変えた。
- 色々な捉え方があり、名前は指定校のままでよいと感じた。
- どのような学校を作ったらよいかということを検討していくことが、子どもたちのために還元できることだと思う。

3 歴史の保存について

本テーマについても、ワークシートを用いて意見を聴取し、会議の場において協議・検討を行った。歴史の保存については、泉小学校の方々が学校を中心に、思い出として残したいものを選定し、受け入れ側の住吉小学校がスペース等を検討されたい、という意見が多かった。

【提言】

泉小学校の歴史の保存については、メモリアルルームもしくはオープンスペースなど、誰もが見ることのできる場所を住吉小学校に設置し、泉小学校として残したいものを保存していくよう提言する。

【意見】

（メモリアルルームの整備）

- 思い入れのある泉小学校の方々に、メモリアルルームに必要なものを挙げ、優先順位を付けていただき、キャパシティ等考慮して住吉小学校で検討を進めればよいと思う。
- 泉小学校に由来するものをメモリアルルームにきちんと残すことは大切である。
- 泉小学校が主体的に進め、住吉小学校が配置を検討したらよい。
- 学校の沿革や児童数をパネルにするなど、泉小学校の軌跡をしっかりと残すとよい。埃を被らないような保存を考えたい。
- 両校に無理のない形で進めてほしい。
- 記憶に残る工夫をすることは重要であり、今回出された意見の中から、学校が採用できるものを採用することが望ましい。
- 泉小学校を知る関係者が残っている中で、メモリアルルーム案の整備等に取り組みたい。

（その他）

- 跡地に何か残すというのも一つの手段である。
- 跡地がどうなるか分からない中で、記念碑を建てるのは早いという気持ちがある。その費用は、お子さんに使ってほしい。
- 自分の通学した学校の証を残すことがあってもよいと思う。

むすびに

本協議会は、子どもたちが幸せな学校生活を送ることができるように、という視点のもとに、教育長から依頼のあった事項について、検討・協議を重ね、意見をとりまとめ、その方向性を提言として報告するものである。

会議の席上、泉小学校の保護者から、「今回の統合に当たり、特に4月に就学する学校については、親子で十分に話し合いを重ねたが、ぎりぎりまで悩みました。」等の意見も紹介された。

本協議会としては、統合校において、統合する2校の校風・伝統を上手に融合し、子どもたちが明るく、楽しく、賢く、生き生きと学校生活を送り、卒業後にこの学校で学べてよかったと振り返ることができる学校づくりをしていくことを切に望むものである。また、委員の総意として、住吉小学校、保谷小学校、谷戸第二小学校のいずれの学校に就学しても、全ての子どもたちが安心して、楽しい学校生活を送ることができるよう、教育環境が整備されていくことを願うものである。

最後に、地域においては、学校・保護者・地域が一体となって子どもたちを育む中で、地域の力を醸成し、地域にとっても希望の持てる新しい学校をつくりだしていくことを望むものである。

資 料

西東京市立学校統合協議会第2回会議ワークシート集計結果

1 調査の概要

- (1) 調査対象 西東京市立学校統合協議会委員 18 人
- (2) 調査目的 統合校の将来像に求めたいことに関する委員の意見や考え方等の把握
- (3) 調査方法 委員に送付し、後日郵送又は学校交換便による回答提出
- (4) 回答者数 18 人 (回収率 100%)

2 調査集計結果 (委員名は提出順とし、いただいた原文のとおり記載しています。)

Q1 「確かな学力」について、求めたいことを御記入ください。

委員	委員意見
A	・「わかる喜び」、「学ぶ楽しさ」があふれる授業を通して、一自ら考え、正しく判断し、適切に表現できる子どもが育つ学校—
B	「よく考え、創造力に富む子どもの育成」 (社会のグローバル化が進む中で、個人としても、国家としても必要な力である)
C	・読み書き、計算の知識の定着はもちろんのこと ・学ぶことが楽しくなる(わかる→できるから楽しい→自分から進んで勉強をしようという意欲がわく) ・土曜日の有効な活用…例えば子供が興味をもつような実験など行う補習(先生方だけでなく地域の方も手伝いできればなおよし)
D	基礎学力はもちろん、発言力(自分の考えを伝える力)をつけること。
E	・家庭の養育力や教育力がないために授業時間中何にも理解できず、苦痛を感じている子どもに対して根気よく指導する ・大学生、高校生などを活用し補習授業をとり入れる ・地域資源を積極的に活用する ・図書館を利用し調べ学習などを積極的に行う
F	思考力・判断力・表現力を身につけ、グローバルなチャレンジのできる子が育つ学校 ・英語教育の推進 ・学び合い、高め合いの時間が十分確保できるタブレットを活用した反転授業型授業の推進
G	美しい日本語を話し、書ける 計算能力(暗算を含む) 読解力
H	集中して授業を受けられる環境が常にある学校であって欲しいです。
I	・国語の基礎力の定着(ことば、漢字、文章表現)を図った上で、自己表現(ディベートなど)をできるようにする。 ・計算の基礎力の定着(くり返しにより徹底的に) ・楽しく活気のある授業
J	・両校で取り組んできた学習規律をベースにした新学習スタンダードの構築 ・ICTを活用した反転授業の試み ・外国語活動の充実、1年生からの発達段階に応じた外国語活動の取り組み ・詩や名文の朗読・暗唱の取り組み
K	・算数①解き方・公式を使いこなせる技術がある←ドリル等による反復練習 ②なぜ、その解き方・公式になるのかを実感を持って理解している ・国語①文書・文章の内容を詳しく理解できる。語彙力、文脈理解 ②言いたい事を説明できる文章構成力(書く力) ③相手に自分の言いたい事・意図を理解させられる話す力 ・理科・社会:観察、実験調査等で興味を引き出し、学習意欲を高める(実験等必須ではない意欲をもつ、実感するための手段) ・書写・水泳・英語等:習うに足る基礎技能が始動されている。

	<p>書写：ただ写し書きさせるのは、ほとんど意味がない。教員がポイントを理解し、指導を</p> <p>水泳：正しいフォームを教員が理解し、子どもをそこに近づける工夫を</p> <p>英語：Hello！程度の言葉を理解するだけならやる意味を感じない</p> <p>・論理的思考のベースとなる国語力は英語より重要ではないか</p>
L	読み、書き、計算の知識や技能がしっかり定着した子どもが育つ学校
M	主体的に考える力を身につけ、知識（学ぶ）楽しさを感じ興味を広げられる環境作りを希望します。
N	小学校ではしっかりとした基礎学力を身につけさせてほしい。その過程において学習の習慣を形成し、学びの意味や楽しさを知り、主体的に学ぶことに発展できるものと思います。
O	考える力を養ってほしい。 （言われた事をやるだけではなく、創意工夫をしてほしい。）
P	読み・書き・計算の知識・技能の定着はもちろんですが、「学びたい」という気持ちや自分で問題を見付け、自ら学び判断・行動して、解決する力を身につけて欲しい。

Q2 「豊かな心」について、求めたいことを御記入ください。

委員	委員意見
A	・人と人のかかわりを大切に活動を通して、一学校や社会の決まりやルールを守る子どもが育つ学校—
B	「自己に誇りを持つと共に、人間として共感する力を持つ子どもの育成」 国際社会の交流が進む中で、民族、宗教等の違いを超えて、互いの人格を尊重しあうことが大切である。
C	いろいろな事に接し、他人を思いやる暖かい心を持った子どもの育成 例えば、地域のお年よりや保育園、幼稚園児との交流を通して心を育てる。
D	1、読書の推進（読書により、豊かな心が育つ） 2、異学年の交流活動を推進し、他者との関わりを学ぶこと 3、奉仕活動を推進（ゴミひろい活動など）し、自然や環境について考える子供を育てる
E	・映画鑑賞や観劇などの機会を多くして全員で共有する ・赤ちゃんとふれあいの時間などを作る ・地域のボランティアに読みきかせをしてもらう ・障がいのある人に積極的に学校に来てもらい話をしてもらう ・地域の大人と話をする
F	言葉の力を大切に子が育つ学校 ・格言、ことわざ、詩、声に出して読みたい日本語等の暗誦の推進
G	他人の意見考えを聞ける 誰とでも仲良くできる 命の大切さを知る
H	読み聞かせや合唱を通じ、心が落ち着いている子供が育つ学校
I	・友だちに対し、“こんなことば”、“こんな行動”がどんな気持ちにさせるか、という想像力をしっかり持てるような子供が育つ学校（いじめの撲滅、おもいやり）
J	・読書環境の整備、活動の充実。おはなしわくわくなど読み聞かせ ・スクールカウンセラーによる個人面談と心のケア、いじめへの対応 ・たてわり活動による子供同士のかかわりを通し人間関係の形成を図る ・茶道教室などを通じた、礼儀や作法の学習 ・地域清掃等、ボランティア活動の実施
K	・友達を思いやれる ・がんばる面白さ、大切さを知っている ・いじめがオープンになる ・よい所をほめられ、伸びたい気持ちにあふれている ・自分に自信がある
L	他人に対する思いやりの心を常に忘れない子どもが育つ学校
M	読書活動を通して豊かな感性を育み、自分と違った考え方を認められ、自分の意見もきちんと言える力を養っていただきたい。
N	子どもたちには良い読書体験を積み重ねさせたい。幸いにも、西東京市の図書館は学校図

	書活動に積極的に協力しているとのことであり、読書量を増やし、読書活動のもつ可能性を追求してもらいたい。 また、子ども同士がしっかりと向き合って自分の考えを相手に伝え、必ずしも自分と同じではない相手の考えや気持ちを尊重し、相手の立場になって考えることや相手の心の痛みを知ることの大切さを教えてほしい。 ボランティア活動を通じて社会や他人とつながることを体験させてほしい。
O	年間目標以上の本を読むようにする。 絵画、歌舞伎、能、落語など日本の伝統文化を機会あるごとに見聞させる。
P	他校・地域の方々とふれあい、素直に感動する心・自分や他人の良さを知り、思いやり、尊重する心を持った子どもに育ててほしい。

Q3 「健やかな体」について、求めたいことを御記入ください。

委員	委員意見
A	・友だちと一緒に体を動かし、元気に遊ぶことを通して、一体力をつけ、自分の健康と安全を守る子どもが育つ学校ー
B	「心身ともに健康で活力のある子どもの育成」 これからの時代を生きていく為には、受身ではなく、積極的に行動し、エネルギー溢れる子供でありたい。
C	体力が低下している、体を動かすことが楽しくなる様な工夫 例えば、児童全体で一つのダンスを覚えて、みんなで踊る。(子どもたちは踊ること結構好きです)
D	基礎体力をつける為に、継続的に運動を取り入れていくこと。 (毎日、なわとび・ランニングを実施するなど)
E	・親の養育力が低下していく中、学校の役割も大きいけども任せではなく家族と一緒に考えていくことを学校が支える
F	体の調子を整え、体力向上に努める子が育つ学校 ・食育指導、姿勢学習の推進
G	栄養バランスのとれた食事についてと楽しく食事をとる大切さの指導 体力の向上
H	最近では子供たちが安全に遊べる場が少ないので、閉校となっても泉小の校庭を残して欲しいです。
I	・早寝、早起き、朝ごはんを徹底させ、生活のリズムを確立させる。これが排便の習慣や授業への集中力にもつながるはず
J	・体幹トレーニング ・姿勢学習の導入 ・食育の充実
K	・元気に遊べる体力がある ・学区内に外遊び、ボール遊び、大声を出す遊びができる、放課後あそび環境がある
L	好き嫌いなくよく食べ、「走る、投げる」などの基礎的な運動能力を育む遊びを、誰もが伸び伸びできる学校
M	“なわとび大会”、“マラソン大会”他の行事を通して持久力を養っていただきたい。
N	子どもたちの基本的な生活習慣の涵養を重視してください。とりわけ睡眠と食事の習慣は大事なので、家庭と学校が協力し合ってください。 また、体育活動を活発化して体力、運動能力の向上に努めてください。スポーツを通じて友だちと力を合わせ、一緒に汗を流す楽しさを知ってほしいものです。
O	食に興味を持たせ、好き嫌いなくなんでも食べるようにする。昔ながらの遊びをさせ、体力をつける。(例えば竹馬、馬とび、けん玉等)
P	食育に取り組み、内面から健やかな体作りはもちろん、運動を通して、体を鍛えてほしい。 【その他】 (西東京市には子供が安全に遊び、運動が出来る公園・運動場が少ないように思います！ぜひ、泉小をそのまま残し、体育館・グラウンドを子供達の体力作りの為にも開放して頂きたいと思います。)

Q4 統合校の将来像として、求めたいことを御記入ください。

委員	委員意見
A	・「子どもが主人公」をめざして、子どもどうしが学び合い、育ち合う活動を進める学校 ＜一人ひとりを大切にする学校＞ ・学校と保護者・地域とが一体となって子どもたちをはぐくんでいく学校＜地域に開かれ、特色のある学校＞
B	学校を中心として、保護者、地域が一体となって、子ども達を育ててもらいたい。それぞれの能力を持った地域人材を活用し、学校の施設を活用し、全ての子ども達が自己を伸ばさせる機会を設けることが大切である。
C	・明るく、楽しく、賢く、生き生きと学校生活を送れる（不登校やいじめがないといいです） ・開かれた学校であってほしい（保護者、地域の人たちとの意思疎通を円滑に！）
D	知（学）・心・体がバランス良く育つ学校
E	・保護者の組織を地域が応援協力していく、学校に「まち」としての機能を発揮してもらい、地域が積極的に支える開かれた学校にする。市民が学校にかかわる、地域資源を活用する、そのためにも地域の人たちは頻りに学校に出入りをする。学校公開、展覧会、運動会、その他もろもろの学校行事に参加して盛り立てていくことが必要。いじめ防止や災害時の拠点として多くの人と顔見知りになることができる ・先生達と顔見知りになる必要がある。 ・学校が困りごとを抱え込まないようにする
F	知育、徳育、体育、それぞれに先進的な試みを行いながらも、日常の積み重ねを大切にする学校
G	卒業して何年後かに振り返ったとき、この学校で学んでよかったと思える学校 地域はもちろんの事、学区外からもこの学校に子供を通わせたいと思える学校 子供たちが楽しく通える学校
H	（空欄）
I	特徴のある児童、みんなより少しのんびり屋さんの児童を目立たせることなく普通に受け入れられるよう、児童、教師、家庭、地域が同じベクトルを向いている学校
J	・PTAの設立 ・防犯・安全の観点と、同じ学校の一員としての意識醸成のため、校帽の導入 思考力・判断力・表現力を備えたグローバルな人材を輩出できる教育内容と環境整備
K	・現在も東京都・西東京市の教育方針に従い、日々尽力されていると信じる。統合したからといって教育方針を変えなければならない程度のいい加減なものではないはずだ ・泉小、住吉小の間で教育方針に大差はないと思うがいかがか。住吉小の従来の理念をベースとしたマイナーチェンジで十分と考える。ただし、より良い教育の追及は従来通り続けられることを望む
L	「学校に行きたくない子ども」がゼロである学校
M	泉小、住吉小の互いの良い所を伸ばし新しい校風伝統を作ってってもらいたい。
N	統廃合といっても、希望すれば全員が同じ学校に移ることができるわけであり、その点は心強い。今後の子どもたちの幸せな学校生活をつくるという大きな目標に向け、保護者、学校、地域の緊密な連携が必要なことは言うまでもないことで、相互理解を基盤にした連携を着実に進めていってもらいたいものです。児童数が増えれば学校の活力が増すことは疑いようがありませんが、何事においても「子どもたちの幸せのために」をキーワードとして様々な課題を解決し、素敵な学校にしてほしいと思います。
O	地域と共に安心、安全な開かれた学校づくり。
P	統合する2校の校風・伝統を上手に融合させてほしい。地域との関わりを見直し、子供のみでなく、地域にとっても希望の持てる新しい学校作りをしてほしい。 【その他】 （運動会の前日の近所への挨拶まわりが大変な学校があると聞いたことがあるので。） 統合によって、使用されなくなる泉小の今後の活用方法もしっかりと検討して頂きたい。

※ Q1からQ4について、このほか2名の委員によりスライドによる提案があった。

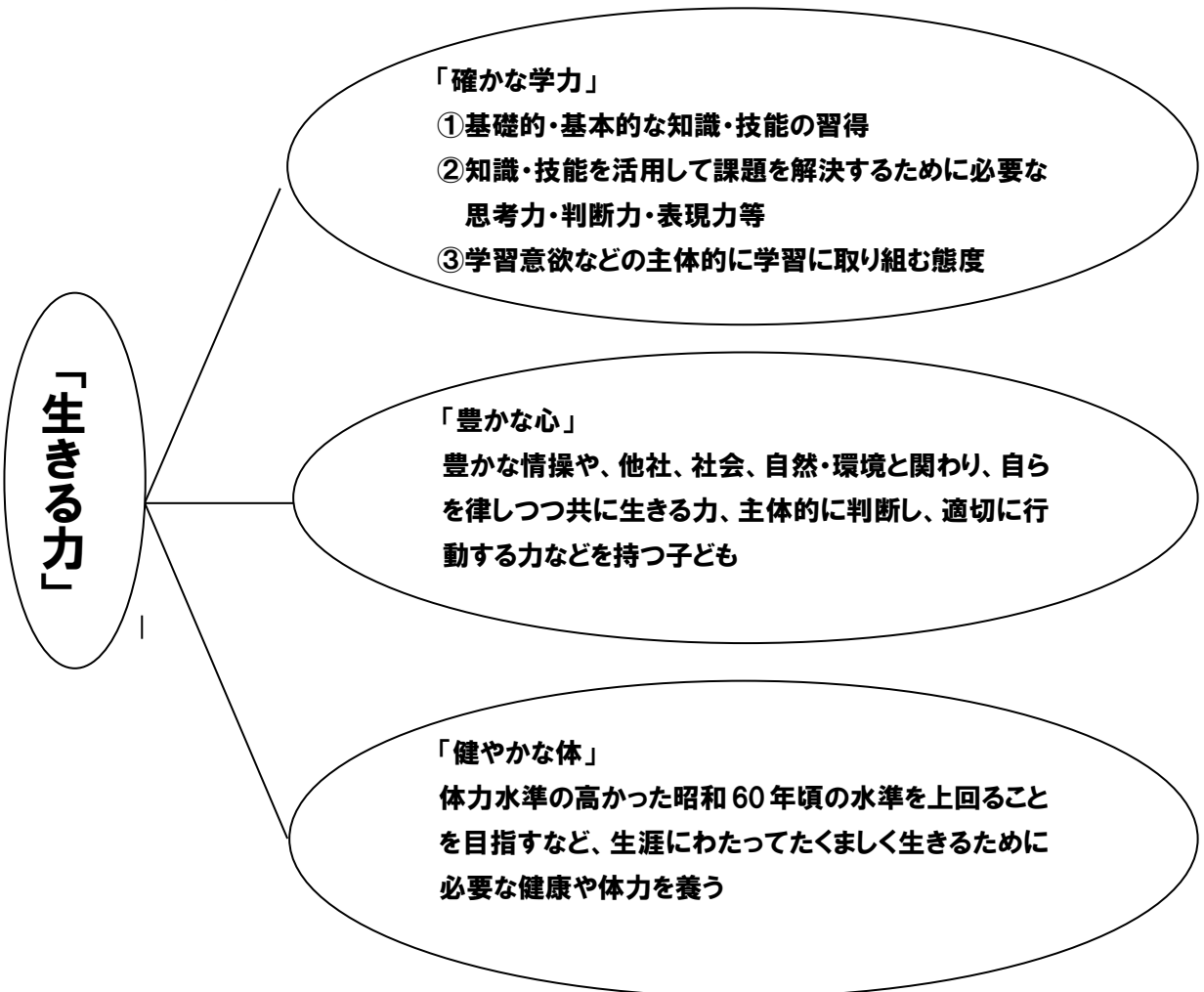
西東京市立学校統合協議会第2回会議ワークシート

教育は、国家百年の計と言われています。

現在、日本は少子化・高齢化による社会活力の低下、国際競争の激化・産業空洞化などによる経済環境の厳しさなどの課題を抱えています。また、家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化を背景に、子どもたちを支える社会のつながりが希薄化するなど、社会状況が大きく変化しています。

このような状況を踏まえ、国の教育振興基本計画では、教育こそが、人々の多様な個性・能力を開花させ人生を豊かにするとともに、社会全体の今後一層の発展を実現する基盤であると位置づけています。

こうした状況については、西東京市も例外ではなく、西東京市教育計画では、子どもたちが「生きる力」を育むことを重視しています。



(裏)

氏名 _____

このような状況を踏まえ、改めて、統合校の学校づくりに求めたいことを御記入ください。

1 「確かな学力」について、求めたいことを御記入ください。

例) 読み、書き、計算の知識や技能がしっかり定着した子どもが育つ学校

2 「豊かな心」について、求めたいことを御記入ください。

例) 学校と地域が連携し、読書活動を推進し、本を読む楽しさを知っている子どもが育つ学校

3 「健やかな体」について、求めたいことを御記入ください。

例) 朝食を欠食する子どもが減少している学校
学校給食での地場産物の使用割合が増加し、地場産物を通して食について考えている子どもが育つ学校

4 統合校の将来像として、求めたいことを御記入ください。

西東京市立学校統合協議会第3回会議ワークショップ



※次ページ以降に上記の写真の趣旨を踏まえてまとめたものを掲載しています。

第3回 西東京市立学校統合協議会 ワークショップまとめ その1

泉小学校の残したいところ・
良いところ

住吉小学校の残したいところ・
良いところ

新しい取組

教育課程に関する内容

習字指導

外国語活動
地域協力者の紹介

お話しわ
くわく

読み聞か
せ

日本語指導

英語教育の充実

なわとび
大会

走ろう大会

水泳指導

保谷高校
との連携
水泳・補習

食育（栽
培から調
理まで）

家庭学習
の手引

土曜日の活用

お米の学校

心の育成

子供らしく
素直な
と

姿勢学習

あいさつ運動

心豊かな子

残したいもの

校帽

泉小の伝統・文化
を残してほしい

谷川俊太郎の
校歌

地域・保護者

泉まつり

地域との
かかわり
（育成会
等）

学校・保護者・地域
の結びつきを深め
る

地域の方々との関わり・ふれあい（見守り・声掛け・音遊び指導）

P T A の 設 立

※ ご意見の趣旨を踏まえ、抜粋してまとめています。

泉小学校の残したいところ・
良いところ

読書指導の継続

完読・静読・読書指
導の充実

「お話しわくわく」
の継続

習字指導の継続

住吉小学校の残したいところ・
良いところ

あいさつ指導の取組
の継続

校帽を残してほしい

水泳指導の充実

姿勢学習

お米の学校

新しい取組

けやきタイム
(特に算数)

保谷高校との連携
(水泳指導)

地域人材
の活用

保谷高校生による
補習事業

育成会

学習スタンダード
の構築

6年間を見通した英
語教育の充実

外国語活動の充実

P T A の設立

土曜日の活用

※ ご意見の趣旨を踏まえ、抜粋してまとめています。

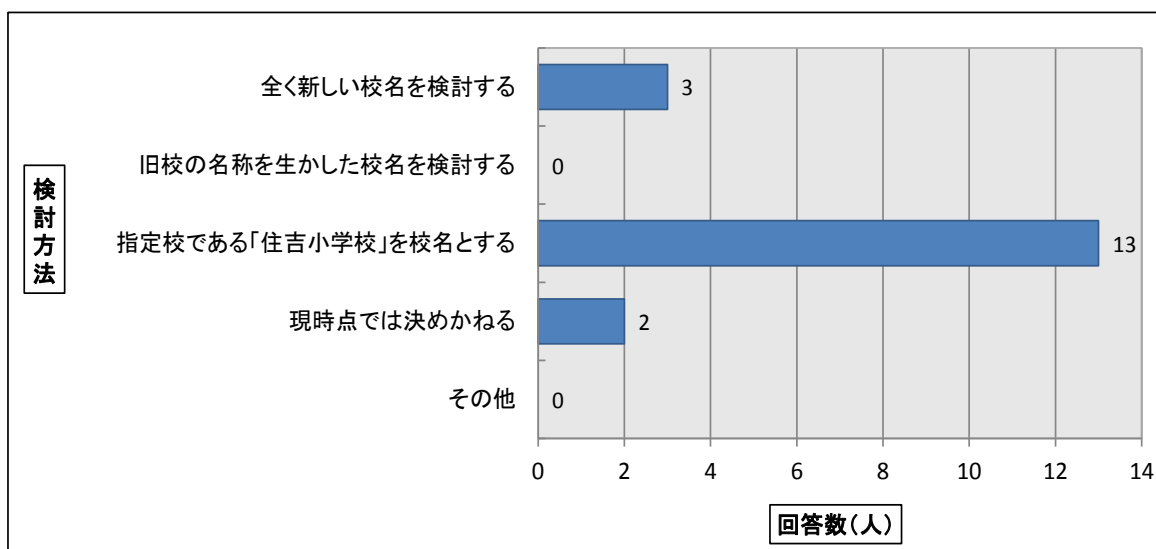
西東京市立学校統合協議会第4回会議ワークシート集計結果

1 調査の概要

- (1) 調査対象 西東京市立学校統合協議会委員 18 人
- (2) 調査目的 統合校の校名の検討に当たり、考え方の方向性に関する意向を確認
- (3) 調査方法 第3回会議時配布、後日郵送又は学校交換便による回答提出
- (4) 回答者数 18 人（回収率 100%）

2 調査集計結果（委員名は提出順とし、いただいた原文のとおり記載しています。）

【質問1】 校名の検討について、どの検討方法が良いか



【質問2】 回答理由

※御意見の趣旨を尊重しながら、検討方法ごとに以下のとおりまとめました。

全く新しい校名を検討する(3名)

- 委員A ○どちらかの校名が消え、どちらかの校名が残るというのではまずい。
○学校の所在する地域名以外からの通学者も多く出てくる。
○新しい学校として出発するのであるから、新しい校名をつける（例えば、碧山小とか青嵐中とかは、素敵な名前だし、校名の中にありたい学校のイメージがある）。
○これからの子供達が希望をもって生きていけるようなイメージをもてる校名が良い。
- 委員B ○両校の歴史、伝統をふまえつつも、新しい伝統と校風を作り出していくスタート点でもあると思えるので、しばられることがなく新しい校名にしていくのも良いかと思われるため。
- 委員C ○泉小と住吉小が“統合”するのであって（2校が1校になるのであって）泉小が廃校となり、まったく無くなってしまいう訳ではないので、統合後の子供達の気持ちを考えれば、新しい校名、もしくは両校の校名を生かした校名が良いのではないのでしょうか。

指定校である「住吉小学校」を校名とする(13名)

- 委員D ○統合校の校名検討に際しては、以下の4点を明確にしたい。
・2校の統合は、2校を廃校して新たな学校を設立するものではないこと
・2校の統廃合に関わる方向性(市教委案)の実現が土台となるものである。そこで、指定校である「住吉小学校」を新校名として、引き継ぐことが妥当であると考えられること。
・校名は「住吉小学校」とするが、両校のこれまでのよき校風、伝統等を最大限に生かしていくようにすること。
・特に泉小学校の歴史の保存を重視し、泉小学校の要望等を十分に生かしていくようにすること。
- 委員E ○学校の名称が含まれる素晴らしい校歌を引き続き使用したい(作詞:谷川俊太郎、作曲:林光)。
○費用がかかるため(変更の場合)。
- 委員F ○泉小学校の伝統・校風などは、指定校の教育方針や教育内容に反映されるべきであるが、校名などの外形面については指定校の現状を変更しない方がよいと考える。
- 委員G ○新生住吉小学校は泉小学校のよき伝統を引き継ぎ、新たな校風を築いてほしいが、今までの住吉小学校としてのよき伝統(校歌、校章等)を残すためにも校名を変えない方がよいと思う。校名は変更しないが、泉小の歴史、伝統の保存に十分配慮していく。(形としてはっきり残るものがほしい)
- 委員H ○教育委員会の施策に添い、指定校が「住吉小学校」となっているので、校名はそのままとした方がよいと思うため。
○住吉小学校の児童の事を考えると、校舎も変わらず通っているのに校名が変わると違和感を覚えるのではないか。
○泉小学校から進学する児童数が少ない事を考えると、校名はそのままでもやむを得ないと思う。
○校名を変えるとすると、校名盤・表示・書類等の変更・準備・設置が必要となり、時間的にも費用の面からも難しいと思う。
○校名はそのまま、泉小学校の歴史・伝統・文化を住吉小学校に継承していく。
- 委員I ○「住吉」の名前がなくなるのであれば、泉小同様廃校の扱いとかわりなく、同じく歴史の保存等の課題も生じることになる。
○名前を変更することによって発生する費用はどのくらいなのか教えて欲しい。その費用にもよるのではないか?
○現時点で住吉小を希望する児童数は16%の24名であり、感情的にはわからないこともないが、現実的には、現状のままで良いのではないか。
- 委員J ○児童数の関係から、校名変更は不自然であること。
○校名を変更するという事は、校歌も変更することになるため、費用もかさむこと。
- 委員K ○住吉町にあるから住吉小。わかりやすい。泉小から来る子も少なく、丸ごと吸収されたイメージにはならないと思う。
- 委員L ○住吉小学校に就学する児童が少ないこともあるが、活発に交流していることで子ども達も保護者も住吉小学校の校名で納得しているのではないかと思う。また、住吉小の子供のことを考えても現校名の方がおさまりが良いし、効率的である。
- 委員M ○現在のところ、住吉小学校に来る児童数も少ないようですので「住吉小学校」としても良いかと思えます。
- 委員N ○校名を変更することになると、まず新校名を決めるまでの「校名募集」などの手続き、そして、次に看板などあらゆるものの作り直しのため、使わなくてもすむ予算を使うこととなります。同じお金を使うなら、その分校舎改修や遊具などにあててもらいたいと思います。また、場所、校舎が基本的に変わらないのに、校名だけ変わるのは不自然な気がします。
- 委員O ○泉小を廃校して、住吉小を指定校にするのだから、校名・校歌を変更する必要はないと思います。新たに新学校を設立する訳ではないので、そのままが良い。経費の軽減にもなる。
- 委員P ○校名を変えるとあらゆるものを新たにすることになるので、かなりの金額がかかると思われるので変えなくても良いのではないのでしょうか。

現時点では決めかねる(2名)

委員Q ○自分ではどれが良いか判断しかねます。幅広く意見を取り入れた方が良いのではないかと考えます（例えば、両校の保護者宛に同様のアンケートをするなど）。

委員R ○前回の話し合いの中で住吉小・泉小両校共に残したいものがあるので、それも含め今後も話し合い、時間をかけて決めていければと思います。

西東京市立学校統合協議会 第4回会議ワークシート

次回の統合協議会では、統合校の校名について、検討する予定です。
つきましては、考え方の方向性について、以下のアンケートに御回答をお願いいたします。

- 1 校名の検討について、どの検討方法がよろしいかお答えください。(どれか1つに○をつけてください。)

- ()・全く新しい校名を検討する
()・旧校の名称を生かした校名を検討する
()・指定校である「住吉小学校」を校名とする
()・現時点では決めかねる
()・その他

具体的にお書きください

- 2 上記1の回答の理由をご記入ください。

御回答ありがとうございました。お手数ですが、平成26年8月13日(水)までに返信用封筒を用いて事務局までお送りいただくか、FAX等にて御回答ください。

平成26年 8月 日

西東京市立学校統合協議会委員

氏名 _____

西東京市立学校統合協議会第5回会議ワークシート集計結果

1 調査の概要

- (1) 調査対象 西東京市立学校統合協議会委員 18 人
- (2) 調査目的 歴史の保存について、委員の意見や考え方等の把握
- (3) 調査方法 第4回会議時配布、後日郵送又は学校交換便による回答提出
- (4) 回答者数 18 人（回収率 100%）

2 調査集計結果（委員名は提出順とし、いただいた原文のとおり記載しています。）

委員	委員意見
A	<p>泉小学校の歴史の保存については、在校生、卒業生、保護者、在籍した教職員の思い出づくりを大切にするなど、その目的を明確にする。</p> <p>特に、メモリアルルームの新設には、ルーム名、広さ、場所などの検討が必要となるが、展示に際しては、「見る」、「読む」、「触れる」ことができるように展示方法を工夫する。その際、8月20日の統合協議会で学校より提案された品々の他に、「学校の沿革」（年表）、「児童数の移り変わり」（グラフ）、「校舎全景」（写真）、「学校近隣の街並」（写真）などが欲しい。</p>
B	<p>（1）メモリアルホールに展示するもの ①歴代校長写真、②校旗、校章、教育目標パネル、③アルバム、④周年関係資料、⑤運動会関係備品、⑥校歌パネル、⑦表彰状 など</p> <p>（2）写真、パネルに納めて展示するもの ・卒業制作・壁画・彫刻・鏡 など</p> <p>（3）使用できるものや植樹等 ①教室表示、②記念樹移植、③玄関案内板、④便利なグッズ など</p> <p>（4）その他 ・地域の思い出（育成会・避難所・学校運営連絡協議会・保護者の会・関係組織）など ○新設遊具について ・遊具2基の名前の発案者（泉小児童）と広場の名前の発案者（住吉小児童）を銘版（3枚）に残す ・名前を付けた児童を招いてテープカット式を行う</p>
C	<p>住吉小学校内の教室の1つを、歴史資料室として、そこに泉小の歴史も含めて保存する。</p>
D	<p>正直よくわかりません。</p> <p>泉小の皆さんの思い出は、他校の者にはわからないので、泉小の皆さんが残したいと思うものを、キャパの許すかぎり、保存できればいいと思います。</p> <p>それが住吉小のスペースなのか、それ以外なのかという点についても、学校 or 教育委員会の方でご検討頂ければよいのでは、と考えます。</p>
E	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎の模型 ・校歌 ・校章 ・卒業制作 ・歴代校長の写真、学校表示、校舎の写真
F	<p>泉小の歴史に気軽に触れることができるように、メモリアルスペースを児童が頻繁に通る場所、目に触れる場所にしてほしい。また、保存したものの興味が失われないように展示スペースらしく、耐久性のある表示板、壁の塗装、黒板、ロッカーの</p>

	撤去、ショーケースの設置等をしてほしい。
G	<ul style="list-style-type: none"> ・メモリアルルーム（スペース）は、人目に触れる場所が良い。オープンスペースでも良いと思う。忘れ去られて埃だらけになってしまうのは良くない。皆が気軽に足が運べて見学できると良い。 ・空き教室を利用するのであれば、黒板やロッカーの撤去、壁の塗装、表示の作成と、取り付けなどが必要だと思います。 ・ガラスケースを設置して展示すると良いと思います。 ・展示スペースの関係で持ち込めない物は、写真に撮って展示する予定です。
H	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋があればメモリアルルームを作る。泉小で残してほしいものを保存展示する。 ・跡地の利用がわかりませんが、今までに植えてある記念樹は残す。 ・住吉小に移植する為には、費用が大分かかると思うので、住吉小学校に記念樹（菩提樹がよい）を植える。
I	メモリアルルームに、校名板、校旗、校歌板の他に泉小のオリジナルな品の設置、また資料保管ケースを設置して卒業アルバム、周年関係の資料を保管していただきたい。泉小に碑を立てて歴史を記して頂きたい。
J	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで両校校歌が聞けるようにしてはどうか。 ・ネット上の両校の歴史を併記し、統合後から一本になるように載せてほしい。 ・メモリアルスペースより現役児童のスペースを優先してほしい。メモリアルスペースを訪れる卒業生はまれだと思われる。 ・現状の住吉小の賞状、トロフィーのスペースはごちゃごちゃして見づらい。新しいもの、上位のものが目立つよう取捨選択してほしい。また、子どもが通って見る場所に最新のものを飾り、受賞した子が誇れるようにしてほしい。 ・泉小出身の児童が周囲の子に出身校を誇れるものを数を限って（逆に目立つため）飾ってほしい。
K	<ul style="list-style-type: none"> ・泉小のパネル、写真、アルバム、トロフィー等は住吉小で管理・保管する。（全てを展示する必要はないのでは） ・記念樹は移植する。 ・卒業記念作品を住吉小で保存するのは無理があるのではないかと。もし泉小の校舎を残し、利用されるのであれば、現状のままが良いのではないかと。
L	メモリアルコーナーとして、校章・校歌・校旗・校名板・写真を展示保存し、卒業アルバム・名簿などの資料系はCDにてデータ保存する。また、学校の写真（開校時・閉校時、航空写真もあれば）もデータ化し保存する。
M	住吉小もスペースには限りがあると思うので、全てを展示・保管するのは難しいと思う。何を残したいか子供達にアンケートを取っても良いと思います。泉小の校舎を残し、他に利用するのであれば、泉小にメモリアルルームを作るのが良いのではないのでしょうか。
N	保存したいものについては、泉小関係者の意見で決めていくのがよいと思います。また、それをメモリアルルームを作って設置するのも一案とは思いますが、在校児童や保護者が普段から目にすることが出来るように、ランチルームや廊下の一部に飾ってもよいと思います。住吉小に同様のものがある場合には、（歴代校長の写真、航空写真、等…）並列させる方法もあると思います。
O	<ul style="list-style-type: none"> ・統合校にメモリアルルームのようなスペースがあれば、両校の歴史資料を展示、保存する。 ・統合の記念樹を植える。 ・閉校の記念碑建立を検討する。また、閉校の記念誌づくりなどを通して子どもたちに改めて母校の歴史を学ばせたい。 ・歴史の保存は、西東京市や他区市の状況及び統合校の実情を踏まえ、無理のない方法を両校で選ぶことが大切である。
P	誰でも自由に出入りできる様な場所にメモリアルルームを作り、保存したい物を残す。

Q	<ul style="list-style-type: none"> ・メモリアルルーム設置 ・泉小跡地に記念碑設置
R	<ul style="list-style-type: none"> ○一教室を使って記念物を常設展示する。 ・校歌の表示板、校旗、記念誌、歴代校長写真 ・児童の作品、卒業アルバム、校舎全景写真 <p>※これらを今年度末までに陳列し，歴史の部屋を完成させる。</p> <p>※泉小の皆さんでお好みに室内をコーディネートしていただく。</p>

3 資料 (ワークシート)

西東京市立学校統合協議会 第5回会議ワークシート

次回の統合協議会では、歴史の保存について、検討する予定です。

つきましては、具体的なアイデアについて、以下のアンケートに御回答をお願いいたします。(提出に当たってはワークシート1ページ目のみの提出で構いません)

Q. 歴史の保存について、具体的なアイデアをご記入ください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

御回答ありがとうございました。お手数ですが、平成26年9月5日(金)までに返信用封筒を用いて事務局までお送りいただくか、FAX等にて御回答ください。

平成26年 月 日

西東京市立学校統合協議会委員

氏名 _____

(氏名は提出確認のために使用します。集計結果には掲載されません。)

西東京市立学校統合協議会設置要綱

第1 趣旨

この要綱は、平成 27 年 4 月 1 日に西東京市立泉小学校（以下「泉小学校」という。）及び西東京市立住吉小学校（以下「住吉小学校」という。）を統合するに当たり、協議すべき課題について学校関係者等が意見交換をするために設置する、西東京市立学校統合協議会（以下「統合協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

第2 所掌事項

統合協議会は、次に掲げる事項について意見を交換し、その結果を西東京市教育委員会教育長（以下「教育長」という。）に提言する。

- (1) 泉小学校及び住吉小学校の統合後の学校の名称、校歌、校章、校旗等に関すること。
- (2) 統合前の泉小学校及び住吉小学校の歴史の保存に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、泉小学校及び住吉小学校の統合に当たって教育長が必要と認めたこと。

第3 構成

統合協議会の委員は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 泉小学校及び住吉小学校に通学する児童の保護者 6 人以内
- (2) 泉小学校及び住吉小学校の学校運営連絡協議会等に所属する市民 6 人以内
- (3) 学識経験者 2 人
- (4) 泉小学校及び住吉小学校の校長及び副校長

- 2 統合協議会の委員の任期は、第 2 に規定する所掌事項についての意見交換の結果を教育長に提言する日までとする。

第4 座長及び副座長

統合協議会に座長及び副座長を置き、座長は教育長が指名する者をもって充て、副座長は座長が指名する。

- 2 座長は、統合協議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、その職務を代理する。

第5 会議

統合協議会の会議（以下「会議」という。）は、座長が招集する。

- 2 統合協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、座長の決するところによる。
- 3 座長は、必要があると認めるときは、統合協議会の委員以外の者の会議への出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

第6 会議の傍聴

会議は、原則として傍聴することができる。

- 2 会議の傍聴者は、10 人以内とする。ただし、座長が必要と認めるときは、これを変更することができる。
- 3 前2項に規定するもののほか、会議の傍聴に関し必要な事項は、座長が別に定める。

第7 謝金

第3第1項第1号から第3号までに規定する委員が会議に出席したときは、予算の範囲内で謝金を支払う。

第8 庶務

統合協議会の庶務は、教育部教育企画課において処理する。

第9 その他

この要綱に定めるもののほか、統合協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成26年4月1日から施行する。
(平成25年度西東京市立学校統合協議会設置要綱の廃止)
- 2 平成25年度西東京市立学校統合協議会設置要綱(平成26年1月17日付25西教教第963号教育長決裁)は、廃止する。

西東京市立学校統合協議会委員名簿

(敬称略)

選出区分	氏名	備考
学識経験者	羽豆 成二	座長
学識経験者	須永 功	
児童の保護者(泉小学校)	勝又 俊江	
児童の保護者(泉小学校)	高松 恵子	
児童の保護者(泉小学校)	前田 涼子	
児童の保護者(住吉小学校)	門馬 晶子	
児童の保護者(住吉小学校)	菅家 淳子	
児童の保護者(住吉小学校)	藤井 和美	
学校運営連絡協議会(泉小学校)	有澤 多津子	
学校運営連絡協議会(住吉小学校)	高柳 徹	
民生・児童委員(泉小学校)	中西 静江	
民生・児童委員(住吉小学校)	堀口 悦子	
育成会会員(泉小学校)	真鍋 五十鈴	
育成会会員(住吉小学校)	細川 雪枝	
泉小学校長	幸内 悦夫	
泉小学校副校長	中村 千佳子	
住吉小学校長	屋宮 茂穂	副座長
住吉小学校副校長	中村 清敬	

検討経過

会議	年月日	検討内容
第1回	平成26年5月28日	①委員依頼 ②会議の進め方 ③泉小学校及び住吉小学校概要
第2回	平成26年7月7日	①泉小学校・住吉小学校からの報告 ②統合校の将来像 ③就学希望校調査結果（報告）
第3回	平成26年8月7日	①泉小学校・住吉小学校からの報告 ②統合校の将来像 ③校名について
第4回	平成26年8月20日	①校名について ②歴史の保存について
第5回	平成26年10月2日	①通学路案について ②歴史の保存について
第6回	平成26年11月10日	①西東京市立学校統合協議会提言書（案） ②就学希望校最終調査結果（報告）
第7回	平成26年12月9日	西東京市立学校統合協議会提言書（最終案）

報告	平成 年 月 日	西東京市立学校統合協議会提言書を教育長に提出
----	----------	------------------------